

「こうち安芸でICTと人づくりシンポジウム」を開催

～ふるさとを愛し、未来を切り拓く人材の育成に向けて～

総務省四国総合通信局(局長:吉武 久)は、平成29年8月29日(火)、安芸市総合社会福祉センターで「こうち安芸でICTと人づくりシンポジウム」を開催し、地元の教職員、自治体職員等74名が参加しました。

冒頭、共催の安芸市 横山幾夫市長から、「安芸では、少子化に伴い学校の小規模化が進む中、教育の質の維持・向上を図ることが喫緊の課題となっている。」との挨拶がありました。

基調講演では、総務省情報流通行政局情報流通振興課 本橋充成課長補佐が、我が国の将来を見据え、今、本気で教育の情報化に取り組まなければならないことや、プログラミング教育をはじめとした今後の施策展開について、全国の事例を交えながら紹介しました。

パネルディスカッションでは、愛媛大学社会連携推進機構 坂本世津夫教授、隠岐島前高校魅力化プロジェクト 大辻雄介教育ICTディレクター、高知県香南市立野市東小学校 門田満穂校長、徳島県東みよし町立足代小学校 中川斉史教頭の4名が登壇しました。

全国でも先進的なICT教育を実践する東みよし町立足代小学校の事例や身近な存在である高知県内の野市東小学校の取組を紹介した後、ICT教育の効果や意義、必要性について議論しました。

分科会では、「教育の未来はIoTにある」、「ICTで学校が、地域が変わる」、「ICTを活用した教育の実践」の三つのテーマに分かれ、総務省地域情報化アドバイザーでもある、大辻雄介氏、坂本世津夫氏、中川斉史氏が、参加した地元の教職員の悩みや自治体職員の疑問などについてアドバイスされました。

セミナー後のアンケートでは、「具体的な例示が多く、参考になった。」、「ICT環境が整っていないなくても、何かできるヒントをたくさん頂けた。」、「ICT整備の重要性は十分理解できた。行政と学校が一体となった10～20年先を見据えた教育環境の整備ができれば良いと思う。」などの声が寄せられました。

当局では、引き続き教育の情報化に関する取組を進めていきます。

(お問い合わせ先) 情報通信部 情報通信振興課 089-936-5061

「こうち安芸でICTと人づくりシンポジウム」の概要

(第一部) 基調講演及びパネルディスカッション

基調講演

本橋 充成 (総務省情報流通行政局情報流通振興課 課長補佐)

パネルディスカッション

・コーディネータ

坂本 世津夫 氏(愛媛大学社会連携推進機構 教授)

・パネラー(五十音順)

大辻 雄介 氏(隠岐島前高校魅力化プロジェクト 教育ICTディレクター)

門田 満穂 氏(高知県香南市立野市東小学校 校長)

中川 斉史 氏(徳島県東みよし町立足代小学校 教頭)

(第二部) 分科会※担当者五十音順

テーマ①教育の未来はIoTにある 大辻 雄介 氏

テーマ②ICTで学校が、地域が変わる 坂本 世津夫 氏

テーマ③ICTを活用した教育の実践 中川 斉史 氏

(主催) 総務省四国総合通信局

(共催) 安芸市、安芸市教育委員会、四国情報通信懇談会

(後援) 高知県、高知県教育委員会、未来の学びコンソーシアム



横山幾夫市長



本橋充成補佐



坂本世津夫氏



大辻雄介氏



門田満穂氏



中川斉史氏